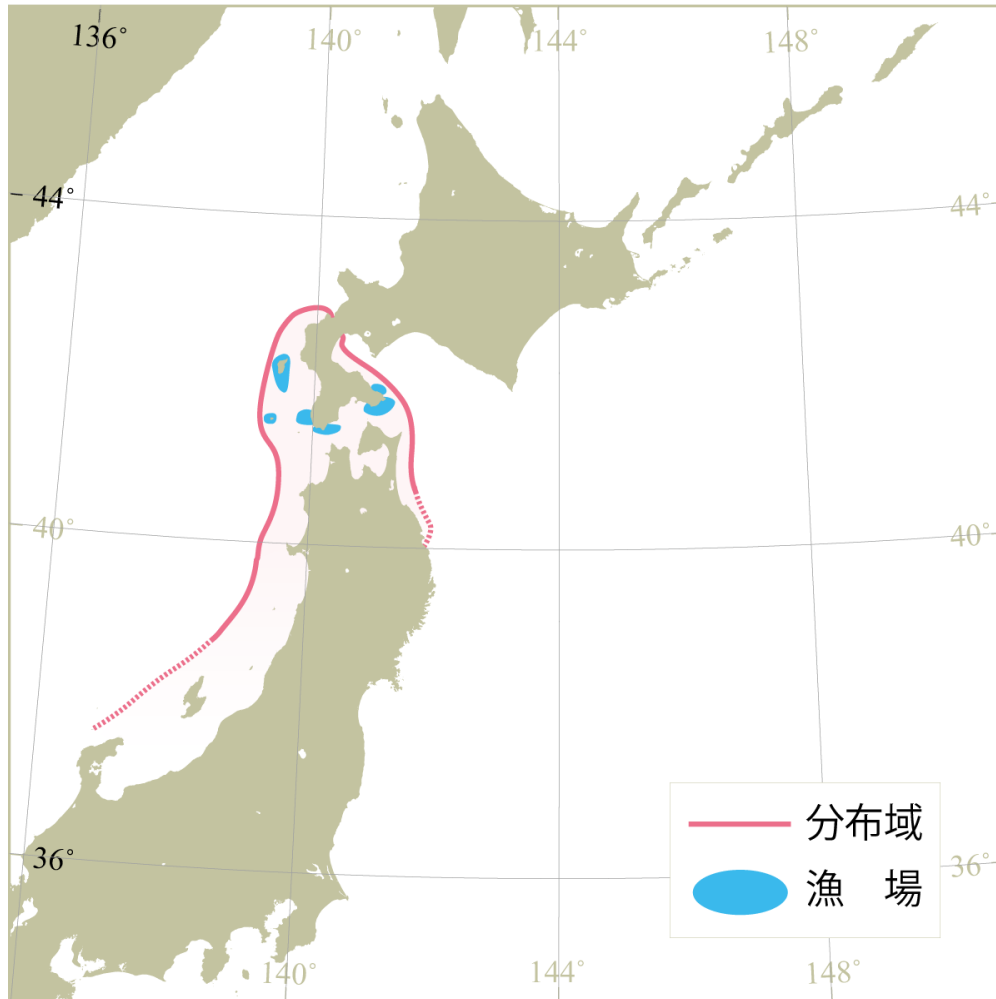




ホッケ道南系群 令和4年度資源評価結果

生物学的特性

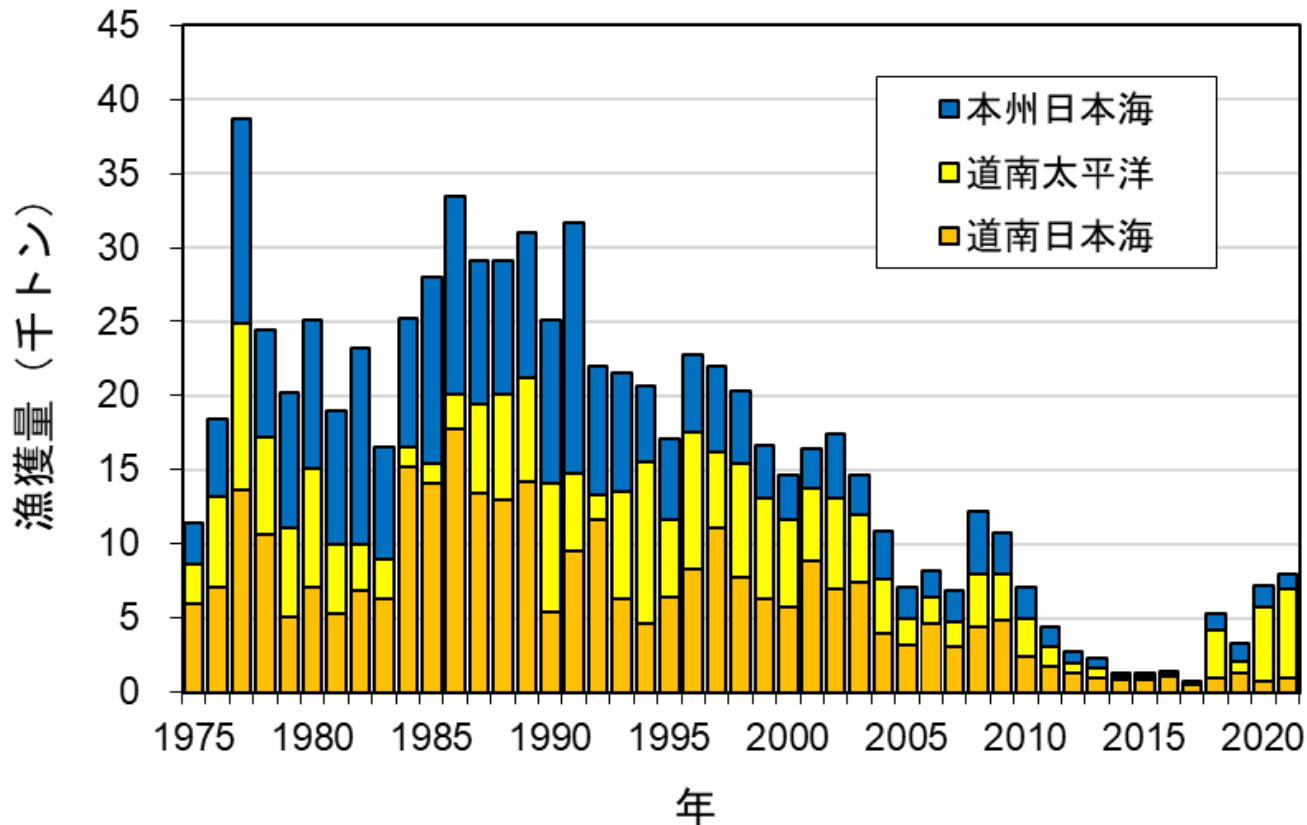


生物学的特性

- 寿命：不明（他の系群では8歳以上）
- 成熟開始年齢：1歳（一部）、2歳（約100%）
- 産卵期・産卵場：11～12月、北海道渡島半島西岸、奥尻島沿岸、恵山周辺の岩礁域
- 食性：仔魚期には主にカイアシ類、未成魚期にはヨコエビ類、岩礁周辺で定着生活に移行後は魚類、魚卵、イカ類、エビ類、ヨコエビ類、オキアミ類など
- 捕食者：不明

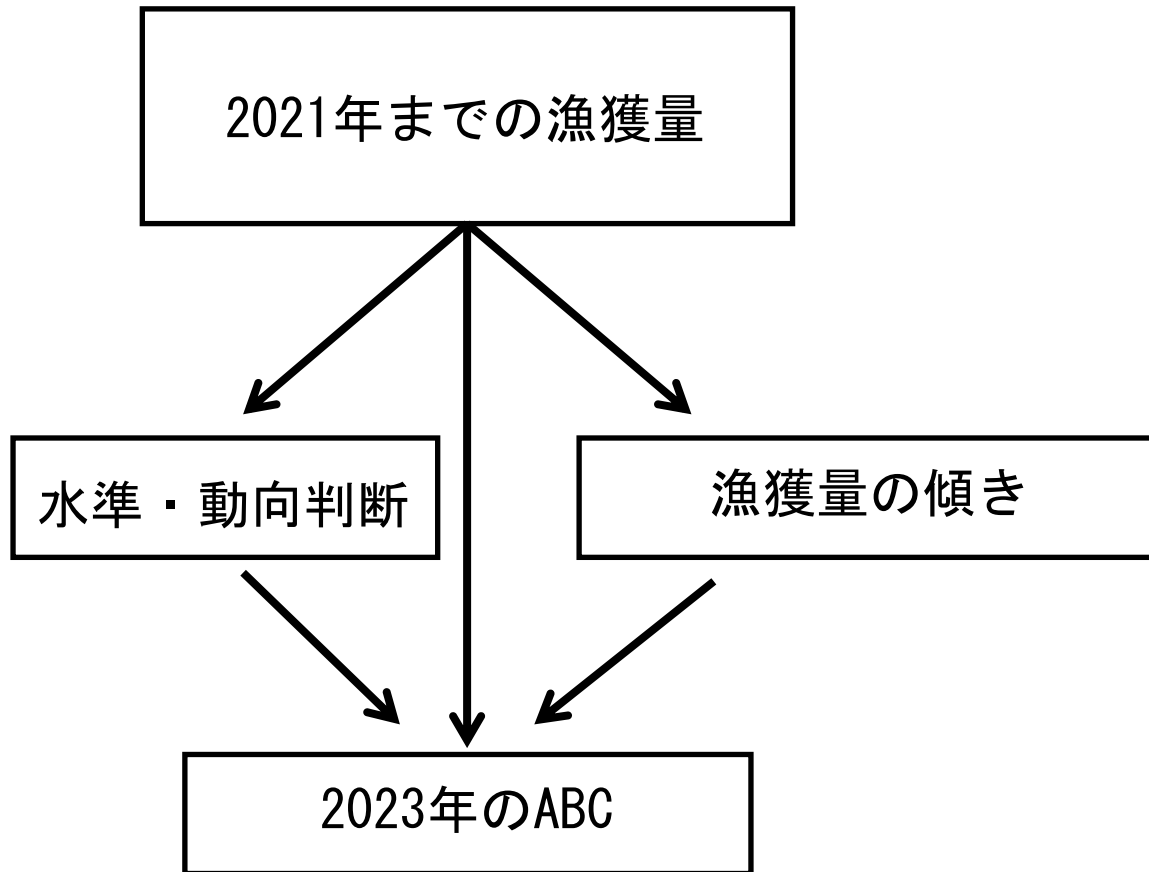
- ほぼ周年漁獲されるが、特に春季の索餌期と秋季の産卵期に漁獲量が多い

漁獲の動向

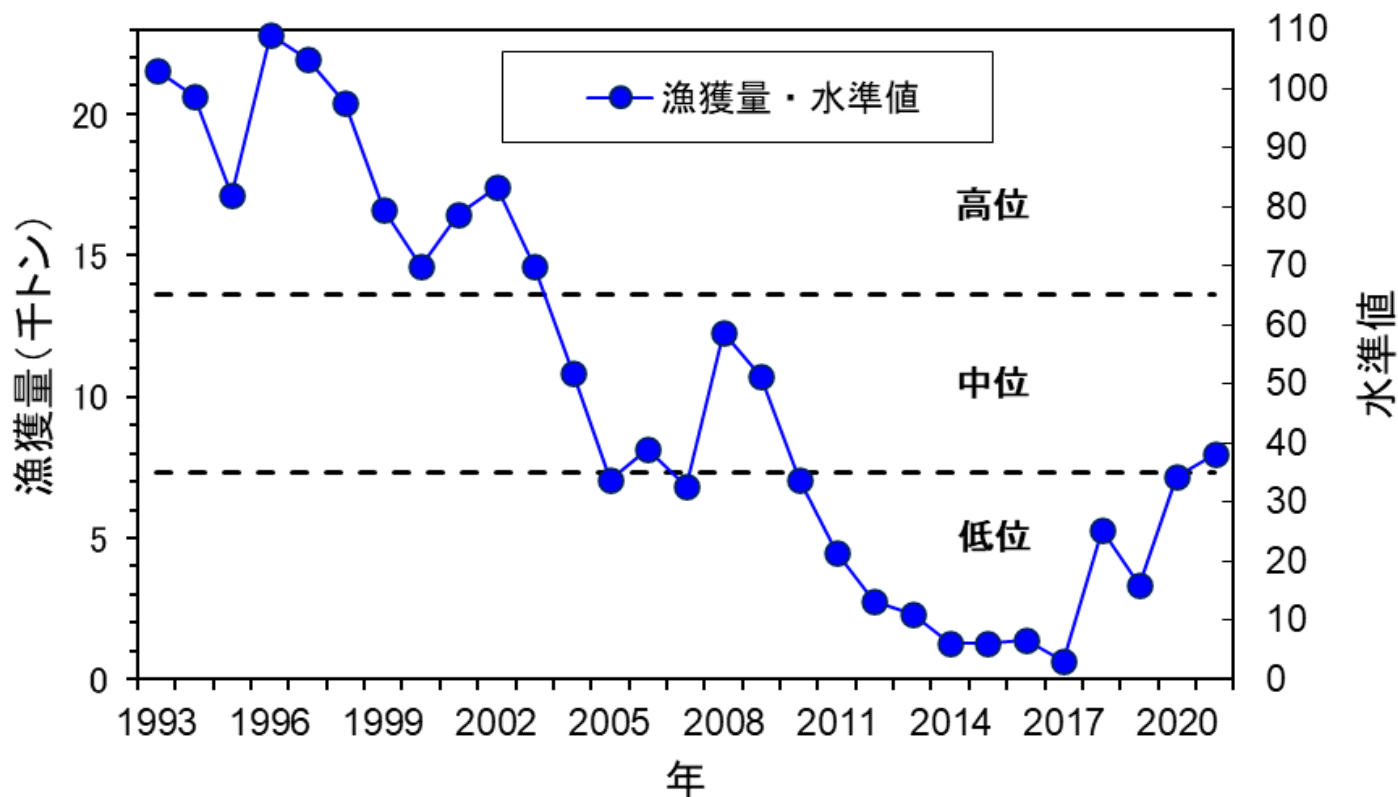


- 2021年の漁獲量：7,968トン（2020年：7,185トン）
- 2021年は道南太平洋、道南日本海で増加してそれぞれ5,980トン、1,012トン、本州日本海では若干減少し976トン
- 沿岸漁業（定置網・底建網、刺網）が主体

資源評価の流れ



資源の動向



※水準区分 低位／中位：資源水準値35、中位／高位：資源水準値65
(1993年以降の漁獲量の平均値を50とし、各年の資源量の値を水準値として算出)

- 資源水準：2021年の漁獲量7,968トンで、資源水準値は38であり「中位」
- 資源動向：直近5年間（2017～2021年）の漁獲量の推移から「増加」

資源評価のまとめ

- 資源水準は「中位」、動向は「増加」
- 漁獲努力量が比較的安定したと考えられる1993年以降の漁獲量に基づいて資源状態を判断した

2023年ABC

管理基準	Target/Limit	2023年ABC (トン)	漁獲割合 (%)	F値 (現状のF値からの 増減%)
0.9・Cave3-yr・1.19	Target	5,270	-	-
	Limit	6,590	-	-

- ABC算定規則2-2) より $ABC\ limit = \delta_2 \cdot Ct \cdot \gamma_2$ で計算
- δ_2 : 0.9 (資源水準が中位である場合の標準値)
- Ct : Cave3-yr (2019~2021年の平均漁獲量)
- γ_2 : 1.19 (直近3年間の漁獲量の傾きと平均で求まる係数)